

9月1日は防災の日。

「防災の日」は、94年前の1923年（大正12年）9月1日に発生した関東大震災にちなんで制定された、台風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波等の災害についての認識を深めるとともに、それに対する「ソナエ」を見直す日です。生団連は、「すぐにできる、防災のアイデア」を発信するプロジェクトとして、昨年9月にソナエラボを公開しました。それからちょうど1年。これまでご紹介した「ソナエ」を振り返ってみました。

災害時の「食」のソナエ



「フリーズドライってすごい！」

アサヒグループ食品株式会社



「災害時だからこそ、いつものビスコを」「カバンにひとつ、『いつもの』バランス栄養食を」

江崎グリコ株式会社



大塚製薬株式会社



「そのとき不足しがちな野菜！」

カゴメ株式会社



「今日からはじめたい『スマートストック』」

キリンビバレッジ株式会社



「『簡単に』『早く』『美味しい』ごはんを」

株式会社永谷園



「『保存できる野菜!?!』」

株式会社はくばく

それぞれの人のソナエ



「キューブ状の粉ミルクで、赤ちゃんも安心」

株式会社明治

「避難生活」へのソナエ



「災害時こそ『ハミガキ』が大切」

サンスターグループ

ソナエへの「学び」



「いざという時役立つ鍋で炊くごはん」

大阪ガス株式会社



「東京直下72H TOUR」

東京臨海広域防災公園

※会社名は敬称略

生団連は「『これならできそう！』なアイデアで防災の1歩のきっかけになれば」という思いで、これからもみなさまに「すぐにできる、防災のアイデア」を発信していきます！